

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第1号

令和4年4月19日(火)

校長 福沢 俊之



Tel 03(3831)3787

学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>

↑更新中

令和4年度のスタートにあたって

校長 福沢俊之

令和4年度が始まって2週間になろうとしています。

先週6日には、2、3年生を校庭に集めて始業式を行いました。翌7日には、在校生の参列はかありませんでしたが、保護者の方とともに、入学式を行いました。今年度は、1年生89名、2年生135名、3年生146、計370名でスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の流行から3年になりますが、新規の感染者数だけを見れば、現在は1年前の同じ時期の10倍です。収束の兆しが全く見えませんが、この2年間、手探りながらも、できることとできないことを判断しながら教育活動を進めてきた経験値を生かしていきたいと考えています。

昨年度は「教育活動を止めない」という方針を掲げてきましたが、今年度は、感染症対策を継続しながら、昨年度よりも少しでも元の教育活動に戻すことを目指していきたいと考えています。

11日(月)の全校朝礼で、「自立」について話しました。「自立」という言葉には、自分のことを自分でできるようになる、といったイメージがあります。しかし、「自立とは依存先(頼れる先)を増やすこと」であると、小児科医で東京大学先端科学技術研究センター准教授の熊谷晋一郎さんの講演会で聴きました。小さいときの高熱が原因で脳性麻痺となった熊谷さんは、中学生の頃から車椅子生活になります。高校を卒業し大学進学を考えたとき、脳性麻痺による障害は治らないのだから、親が活着ている間に親亡き後をシミュレーションしようと地元の山口県から東京の大学に進学し、一人暮らしをはじめました。その中で得た考えが「自立は依存先を増やすこと」です。一人暮らしをしたことで、友達や社会など、依存できる先を増やしていけば自分は生きていける、自立できるということがわかったといいます。「自立」とは、依存しなくなることだと思われがちだが、そうではなく、「依存先を増やしていくこと」こそが、自立なのだ、これは障害の有無にかかわらず、すべての人に通じる普遍的なことだと思っています。

入学式や朝礼で生徒には、辛いことや困ったことがあったら、一人で解決することも大切だが、人に相談することはもっと大切だということを伝えたいと思い、このような話をしました。

ご家庭と学校と、お互いに見えていないところがあります。保護者の皆様には、今年度も引き続き本校の教育活動にご理解ご協力をお願いするとともに、情報交換をしながら、生徒たちを育てていきたいと考えています。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



学 級	担任(○は学年主任)	学 年 所 属	
1年1組		1組副担任 2,3組副担任	
1年2組			
1年3組			
2年1組		1,2組副担任 3,4組副担任 学年所属	
2年2組			
2年3組			
2年4組			
3年1組		1,2組副担任 3組副担任 4組副担任	
3年2組			
3年3組			
3年4組			
教務主任		生活指導主任	
進路指導主任		保健主任	
特別支援教室 (○は教室主任)		事務主任	
		栄養士	
		事務主事	
		用務主事	
(妊娠出産休暇)			
特別支援教室専門員			
スクール・カウンセラー		非常勤講師	
学力向上推進 ティーチャー			
特別支援教育支 援員			
学力アップ教室 担当		部活動指導員	
		部活動外部指 導員	

令和4年度 異動関係

※退職・転任等



職名(教科)	氏名	本校勤務	転出先等
主任教諭			
教諭			
教諭			

※転入等

職名(教科)	氏名	ヨミガナ	前任校等
主任教諭			
教諭			
教諭			